



# 森ボラ 通信

第192号 2018年3月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル 3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

## トピックス

### ◆「森林・山村多面的機能発揮対策普及セミナー」活動事例発表に参加

2月14日東京都中央区月島区民センターにて開催された表記報告会に参加してきました。参加者は林野庁担当者、都道府県林務担当及び各地域協議会など約100名でした。事例発表者は私たちを含めて、全国から下記の4団体で当会からは釣井、樫棒が参加しました。各団体の特徴を簡単に述べます。

①「森ボラ協議会」：NPO 北海道森林ボランティア協会の多面交付金の受皿団体です。当会の特徴は活動機会の多さと森林整備の多様性であると思います。

②「貝沼茸山整備研究会」(長野県伊那市)：荒廃したアカマツ林を山主と協働で整備してマツタケ、ホンシメジなどの茸を収穫しています。家族そろって楽しみながら活動している様子が見られました。

③「いなべ山造り塾」(三重県いなべ市)：山主、地域住民、森林ボランティアと連携して人工林の森の健康診断、境界確認、山林整備を行う。多彩な講師陣を迎えて山の見方、安全技術などを楽しみながら学んでいます。



④「倉永山林保全の会」(福岡県大牟田市)：平成28年に発足した新しい会ですがパワーショベル、トラクター、エンジン薪割り機、チェンソーなど器械を購入して竹林を積極的に整備しタケノコの収穫を行っています。今年度のタケノコ出荷額は200万円以上を目標としています。

各団体の報告を聞き、キノコ、タケノコなど具体的な収穫目標があると活動の達成感が感じられて良いなと思いました。私たちの活動にも取り入れられないかと痛感しました。(文・樫棒、釣井)



## 活動報告

### ◆冬季セミナー

「生き物と自然を伝える — 小さな水生生物をとりまく自然を中心に」

2月14日セミナーは昨年夏、澄川の森右精進川の水質・水生生物の調査をお願いしました札幌青少年科学館の守屋 開先生にお話し頂きました。参加者は18名でした。

初めは守屋先生のライフワーク(?)現在も調査研究中の希少種キタホウネンエビのお話でした。私たちに耳新しいキタホウネンエビとはエビやカニのような甲殻類のうち、殻をもたない原始的なグループに属しているホウネンエビ類の1種で、「妖精のようなエビ」とも呼ばれています。石狩湾沿岸の低地帯は約6000年前の縄文海進で浅い海底に凹凸の地形が形成され、約4000年前以後に陸化して雪解け水をためるプールが出現する特異な環境です。キタホウネンエビの生息地は防風林内の春先だけに出来るこの融雪プールです。キタホウネンエビは低水温期に孵化し、40~50日で体長

1. 5～2cm の成体に成長して乾燥や高低温に耐え数年間は休眠できる卵を産みます。

キタハウネンエビの元になる種はアラスカやシベリヤ～カムチャッカあたりから水鳥の渡りによってもたらされた可能性があります。長い時間の中でこのような生態を獲得し夏には干上がる融雪プールで生き続けて、キタハウネンエビという新しい種が分化したと考えられるそうです。生き物とそれを育む自然環境の関係を理解する事や生物の保護と生息地の保全をひとつに考える事の大切さを教えて頂いた貴重なお話でした。澄川の生き物の保全を考える際にも踏まえなければならない重要なことと思いました。



次は「生物と自然を子供たちに伝える」「種や群集、分布域を未来に伝える」ために開いた学習教室のお話でした。子供たちが生き物を好きになって、取り巻く自然を大切にすることを「知ること」から始まります。小樽のオタモイの海辺や精進川の上流、中流、下流の川べりで生き物を採集し、観察し、顕微鏡で小さな生き物を見る子供たちの真剣で楽しそうな様子をスライドで見せて貰いました。

どのような生き物がいるのか、どのような環境に生きているのか、見つけた生き物たちがどのような関係なのかを実際に体験し、説明を聞き、どのようにして生き物と自然を未来に伝えられるかを考えて貰いたいとお話でした。楽しい体験と驚きが子供の探求心を育てるとのご意見は森ボラの学習プログラムにも通じます。

生き物と自然を未来に伝えたいという守屋先生の静かで熱い思いが伝わってくるセミナーでした。有難うございました。(文・佐野)

## ◆ 冬の澄川の森を歩き、整理伐を見学して冬芽を観察する！

～ 2017 年度親子森林教室・森しり隊の第6回活動報告 ～

2017 年度の親子森林教室・森しり隊の第6回目は、2月18日（日曜日）に「冬の森を探検する」を活動テーマに、冬晴れの澄川環境林で開催しました。厳しい寒さが続く中でしたが、元気な子どもたち10名と保護者8名、協会員17名の総勢35名が参加しました。

### 第6回活動経過

9:40～ 朝礼・ラジオ体操  
10:00～10:25 冬の森歩き  
10:25～10:35 整理伐見学  
10:35～11:00 樹高・周長測定  
11:20～11:40 冬芽の観察  
11:40～13:00 昼食・焼き芋・そり遊び  
13:00～13:20 カンジキ体験  
13:20～13:40 まとめ・解散

朝礼では一日のスケジュールの他に、冬の森歩きで注意する点を説明して安全を期しました。皆で元気よくラジオ体操を行い、まずはスノーシューを履いて整理伐の現場であるB3地区に向かいました。途中では、クマゲラが開けたと思われる大きな木穴を観察し、夏の森歩きで紹介した道路脇のハリギリとミズナラに樹名板を付けていきました。この日はあまりの寒さに散歩を止めたのか動物の足跡が少なく、それでもキタキツネの真っ直ぐに続く足跡を発見しました。

B3地区はこれから整理伐に入る処ですが既に選木は終わっており、その中に傾斜木になっているシラカンバの大木をチェーンソーで伐採するところを見学しました。説明者の矢澤さんは、われわれが森でどんな木を伐っているのか、また、倒す方向を考えてどのように伐るのか（受け口と追い口）を実演しながら説明してシラカンバを見事に伐り倒すと、子どもたちからは歓声が上がりました。

子どもたちは引き続きB3地区で、3月の第7回目で自分が伐る木を、株立ちしている小径木（シナノキ、アズキナシ、イタヤカエデ）の中から選んで、その樹高と周長を測りました。樹





高の測定は勾配測定器を使って目線から木の頂点までの長さを測り、3月に実際に伐り倒した時の実測値と比較してみることにします。

再び森を歩いて小屋前広場に戻り、午前中の活動の最後は冬芽の観察です。まず、説明者の酒井さんから冬芽とは冬を越す芽のことで、寒さや鳥に食べられないように保護しており、形や色、大きさに様々な特徴があることを説明し、4班に分かれて

ミズナラ、ホオノキ、キタコブシ、エゾマツの冬芽を観て学びました。

たき火を囲んでの昼食では恒例の焼き芋を頬張り、食後は小屋周辺の坂でそり遊びに興じました。

遊び足りない感じでしたが午後の活動を再開し、7月の第4回目で作ったカンジキを履いて雪上を歩く体験をしました。これまでのカンジキは紐が解け易いので今回は紐の部分を改良して作ったものですが、子どもたちが履いて駆けずり回るとやはり靴から外れてしまい、なかなか上手くいきませんでした。



青空が消えて小雪が舞い始めたので、最後に簡単に今日やったことをおさらいし、次回の予定を説明して終了しました。次回は3月25日で、いよいよ最終回です。樹液採取と間伐体験、そして保養センター駒岡へ移動して修了式(1年間のまとめ)を行う予定です。(文・清澤)

## ◆澄川南小4年生化粧炭に挑戦

2月6日今年の最初の黄色い声が澄川環境林に鳴り響きました。4年生57名がスノーシューと空缶を持って元気に訪問してくれました。先ずは何時もの入り口で協会員6名がスノーシュー装着のお手伝いをして、500mほど離れた管理地まで林内散策です。やはり北国の子です。スノーシューで走ったり跳ねたり元気 元気・・・



大窪森しり隊長から子ども達に段取りと注意事項を説明があり、各自が持参した缶に釘で穴をあけて準備完了です。3班に分かれて火を起こしてあるかまどで化粧炭作成体験の開始。缶カラの中身はマツボックリ、クリ、竹、新聞紙、折鶴などのいろいろでした。

2つの穴から白い煙が出てきて少し収まったら火から引き揚げ冷やしてその出来栄えにドキドキ。大きなカンカラは熱で変形して中身が焼けてしまい化粧炭は失敗でしたが、茶筒の様な缶で焼いた中身は上手に化粧が出来上がり皆で

覗きながら一喜一憂。

出来た作品を大事に抱え給食の待つ学校へ戻りました。反省としては化粧炭にして映える材料を事前に知らせておくとか、空缶を持って来なさいではなく大きさや形状を確り伝えておくともっと充実した体験学習に繋がったと思いました(文・事務局)

## ■今月の幹事会

出席者：市山・大窪・樫棒・加藤・清澤・酒井・高野・釣井・西野・矢澤・和田

1. 2018年4月、5月スケジュール・・・幹事会 4月6日 臨時幹事会 4月20日
  2. 澄川基本計画骨子作成（ワーキンググループ作成案）  
第3期5か年計画の達成状況と4期5か年計画の目標⇒3/14 会員例会で発表
  3. 第3期親子森林教室のスケジュール・・・2018年度の7回の活動タイムスケジュール発表  
3/25の第7回親子森林教室の確認
  4. 2018年度森林・山林多面的発揮機能対策進行状況・・・東京（2/14）での活動発表報告  
2017年度活動報告完了
  5. 森林再生と環境保全推進フォーラム2018in 北海道・・・台風被害林での活動 酒井さん講演  
3月24日（土）13：30～17：00 札幌市教育文化会館3F 参加者募集
  6. 2018年年間作業計画・・・幹事会で承認
  7. 委員会報 冬季セミナー  
3月14日（水）北海道教育大学 名誉教授 木村方一先生
  8. その他
    - ・動物センサーカメラ活用の件・・・継続的に試験を行う
    - ・澄川環境林ゲート前に協会の看板設置
    - ・現場プロジェクト制度の見直し・・・調整して5月スタート
- 2017年2月会計報告

**お知らせ**  
**★ 2018年度北海道森林ボランティア協会年会費ご請求させていただきます**  
**《郵便局払込取扱票にてご納入お願いします》**

## ■活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
2月16日（金）	澄川	17	E-4 整理伐及び集材作業・工具整備
2月18日（日）	澄川	17	第6回親子森林教室 カンジキ体験、樹名板設置
2月20日（火）	澄川	12	E-4 整理伐・E-3 ロープウインチで集材
2月22日（木）	澄川	15	E-3 集材・E-4, B 地区間伐作業
2月26日（月）	澄川⇒紅桜公園	17	澄川南小2年生75名 冬芽観察会
2月28日（水）	澄川	15	E-4 整理伐と集材
3月5日（月）	澄川	11	管理地雪掻き・E-4 間伐作業
3月9日（金）	ラルズビル	11	定例幹事会
3月10日（土）	澄川	12	E-4 整理伐を継続（ロープウインチで集材）
3月12日（月）	澄川	12	E-4 間伐作業・イタヤカエデ樹液採取
3月14日（水）	エルプラザ	21	冬季セミナー（会員例会・木村方一先生講演）
3月16日（金）	澄川	13	E-4 整理伐、懸り木処理完了。今後は集材作業